

2018年9月28日

【第69回日本電気泳動学会総会報告】

大石 正道
第69回日本電気泳動学会総会 総会長
北里大学理学部物理学科生物物理学講座

平成30年8月8日～9日の2日間にわたり、北里大学相模原キャンパス（神奈川県相模原市）におきまして第69回日本電気泳動学会総会が開催されました。総会初日には関東地方に台風13号が最接近し、総会の開催が危ぶまれましたが、幸い台風の進路が東へそれたため、台風の直撃は免れ、交通機関への影響は最小限で済みました。このような悪天候にも拘わらず、会員の皆様やシンポジウムの講演者の方々には遠方からもご参加いただき、たいへん感謝しております。おかげさまで、総会参加者は事前登録者と当日参加者を合わせ90名に達しました。



台風13号の進路

会場の北里大学相模原キャンパスは関東平野の西のはずれにあり、都心からのアクセスが不便な場所にあります。L2号館（LはLecture 講義棟の略）の4階フロア全体を学会専用にする事ができ、シンポジウム会場（409講義室）、ポスター会場および企業展示会場（学生ラウンジ）を一体化できました。

シンポジウムは6つのセッションから構成され、そのうち2つはそれぞれ日本比較内分泌学会と日本プロテオーム学会との共催シンポジウムとして開催されました。また、若手研究者によるがん研究、最新の電気泳動技術、タンパク質の翻訳後修飾、プロテオミクスの最新技術などについて、興味深い発表が相次ぎました。



左の写真：学会賞授与式にて左から順に、大石、奨励賞（服部賞）の長塩亮先生、学会賞（児玉賞）の亀山昭彦先生、学会長の佐藤雄一先生、国際奨励賞（橋本賞）の曾川一幸先生

右の写真：懇親会で乾杯の挨拶をされる平野久先生

一般演題はすべてポスター発表とさせていただきました。今回はインデキシング（1人あたり5分程度の短い口頭発表）を取り入れました。全部で19演題の発表がありましたが、1日目のポスター発表では30歳以下の若手研究者11名によるインデキシングが行われました。学生以外の参加者全員の投票により、若手研究者の中から5名の方が優秀ポスター賞に選ばれました。

1日目の総会終了後には、隣りの建物のL1号館へ移動し、2階の学生食堂で意見交換会が開催されました。平野久元会長に乾杯の挨拶をいただいた後、和やかな雰囲気の中で、講演者の方々、企業の方々、学生さんも含め、ご歓談いただきました。残念なことに台風接近の影響で、北里大学の学生さんの3つのサークルによるイベントが中止になりましたが、小寺先生が、北里ブランドのお酒やワインを取り寄せてくださったので、とても盛り上がりました。途中、北海道医療大学の藏満保宏先生が、来年7月に宮崎フェニックスシーガイアリゾートで開催される第70回総会の案内をされました。



上の写真：恒例の記念撮影では、学会賞受賞者（児玉賞、橋本賞、服部賞）の方々、佐藤会長、小寺副会長、理事、評議員の方々、会員、学生の皆さんが一堂に集まりました。

総会2日目は、台風13号が北へ去って行ったので、穏やかな日になりました。シンポジウムセッションが3つ開催され、ポスター発表では若手研究者以外のインデキシングも行われ、活発な質問や意見交換が行われました。

なお、総会翌日の8月10日には、プロテオミクス タンパク質分析 基礎講座が、北里大学臨床講義棟（IPE棟）で開催されました。この講座は、文部科学省・臨床質量分析プラットフォームが主催で、小寺先生を世話人に、日本電気泳動学会が共催となっています。会員の中には、総会に引き続き、こちらの講座にも参加された方が何人もいて、とても盛況だったとのことでした。

総会の準備に当たっては、半年前から準備委員会を頻繁に開催してきました。準備委員を快くお引き受けくださり、総会の運営に積極的なご意見を出して下さった佐藤雄一会長、小寺義男副会長、学会事務局の長塩亮先生には心から感謝しております。また、企画委員の先生方には、シンポジウムの企画から講演者の選定、そして当日の座長をしていただき、それぞれのセッションの成功にご尽力いただいたことに深く感謝申し上げます。北里大学の学生さんには、受付、クローク、会場係などをしていただき、9社の企業には展示と抄録集の広告に協賛をしていただきました。北里ライフサービスには会場設営やお菓子・飲み物の手配をしていただきました。抄録集の作成においては中西印刷にお世話になりました。関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

皆様方のより一層のご活躍をお祈り申し上げます。

以上

It's Time to Expect More From Handcast Gels!

TGX FastCast アクリルアミド溶液キット

BIO-RAD

最新のゲルケミストリーを採用した「TGX FastCastアクリルアミド溶液キット」で、より進化したパフォーマンスと利便性を自作ゲルで実現。



特長

- 1:1混合で面倒な計算は不要
- 1ステップ重合法で、分離ゲルの重合を待たずに濃縮ゲルを重層
- TGXゲル仕様なので高速電気泳動(30分)と高い転写効率を実現
- TGXゲル仕様なので自作ゲルでも1ヶ月の保存が可能

詳しくは <http://www.bio-rad.com/tgxfastcast> にアクセス!

日本電気泳動学会企業会員

アドバンテック東洋 (株)

癸巳化成 (株)

コスモ・バイオ (株)

(株) 島津製作所

ナカライテスク (株)

(株) ナード研究所

日本エイドー (株)

バイオ・ラッド ラボラトリーズ(株) (株) ヘレナ研究所

富士フィルム和光純薬 (株)

(株)クリムゾン インタラクティブ ジャパン

シャープライフサイエンス (株)

【日本電気泳動学会電子メール通信】は、日本電気泳動学会会員の皆様に配信しています。

【日本電気泳動学会電子メール通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい。

ご意見を【日本電気泳動学会電子メール通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。

【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問い合わせ】は、本会事務局 (secretariat@jes1950.jp) 宛
にお願いいたします。